

別紙 営農類型ごとの経営規模及び生産方式の指標

※平成 29 年 3 月策定 第 3 次農林水産業元気再生戦略より引用

1 営農類型と経営指標の作成

本県の基盤産業である農業を発展させていくためには、多様な農業者一人ひとりが「農業所得の増大」を実感でき、産業として魅力ある農業の実現を図っていくことが重要である。

具体的には、他産業と遜色のない所得水準を確保し、地域農業を牽引する競争力の高い経営体、いわゆる「トップランナー」に加え、他産業を上回る所得水準を確保し、正社員を雇用する企業的経営を展開する「スーパートップランナー」の育成を推進していく必要がある。

そのため、トップランナーやスーパートップランナーを目指す際の参考指標として、目標とする農業所得の確保に向け、栽培面積や作目構成、労力、収益性などを検討するため、県内の実例等に基づく営農類型とそれぞれの経営指標を整理した。

トップランナー向けの営農類型として、主たる経営者の農業所得が 400 万円以上となる農家及び農業法人を想定し 32 件の経営指標を作成するとともに、スーパートップランナー向けの営農類型として、主たる経営者の農業所得が 800 万円以上となる農業法人を想定し 8 件の経営指標を作成した。

2 営農類型と経営指標の活用

これらの営農類型や経営指標の活用により、普及活動等における経営指導や支援を強化し、地域農業を牽引する「トップランナー」や「スーパートップランナー」の育成・拡大を図る。

○普及活動やJA等の営農指導での提案

- ・生産性の向上等の個別経営体の経営改善や、個別経営体から法人化への発展、集落営農組織の法人化の場面など、経営規模の拡大や所得拡大に向けた具体的な提案として活用

○経営改善に向けた経営状況の分析

- ・農業経営体自らの経営改善に向け、現在の経営状況を分析する際の参考資料として活用

3-1 トップランナー向けの営農類型別経営指標一覧

※主たる経営者1人当たりの農業所得400万円以上の農家及び農業法人を想定

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
1	さくらんぼ＋りんご 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 2.2ha さくらんぼ = 0.4ha りんご = 1.6ha (育成中園地) = 0.2ha	主たる経営者の農業所得 4,009千円 〔◇販売金額 19,137千円 ◇農業所得 8,009千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 1,332千円 ・補助的従事者 5人〕	○さくらんぼは2割、りんごは2割を直売・贈答で販売
2	さくらんぼ＋西洋なし 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 2.3ha さくらんぼ = 0.3ha 西洋なし = 1.8ha (育成中園地) = 0.2ha	主たる経営者の農業所得 4,169千円 〔◇販売金額 24,691千円 ◇農業所得 8,169千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 1,547千円 ・補助的従事者 4人〕	○さくらんぼは3割を直売・贈答用で販売 ○西洋なしは共同選果施設を利用
3	さくらんぼ＋もも 【果樹専作】	○				経営規模 = 2.2ha さくらんぼ = 0.4ha もも = 1.6ha (育成中園地) = 0.2ha	主たる経営者の農業所得 4,547千円 〔◇販売金額 21,212千円 ◇農業所得 8,547千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 1,128千円 ・補助的従事者 4人〕	○さくらんぼは2割、ももは2割を直売・贈答用で販売
4	さくらんぼ＋りんご＋なす 【果樹＋野菜】	○				経営規模 = 1.8ha さくらんぼ = 0.6ha りんご = 0.8ha なす = 0.2ha (育成中園地) = 0.2ha	主たる経営者の農業所得 4,044千円 〔◇販売金額 18,570千円 ◇農業所得 8,044千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 1,645千円 ・補助的従事者 7人〕	○さくらんぼは3割を宅配による直接販売 ○なすは露地栽培
5	さくらんぼ＋啓翁桜＋水稲 【果樹＋花き＋水稲】	○				経営規模 = 4.4ha さくらんぼ = 0.3ha 啓翁桜 = 2.0ha 水稲 = 2.0ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,118千円 〔◇販売金額 14,075千円 ◇農業所得 4,118千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 2,177千円 ・補助的従事者 5人〕	○さくらんぼは3割を直売・贈答用で販売 ○水稲部門は3戸で共同作業
6	日本なし＋小ぎく＋水稲 【果樹＋花き＋水稲】				○	経営規模 = 2.6ha 日本なし = 1.2ha 小ぎく = 0.3ha 水稲 = 1.0ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,318千円 〔◇販売金額 17,312千円 ◇農業所得 4,318千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 5,011千円 ・補助的従事者 7人〕	○水稲は共同乾燥調製施設を利用 ○果実の3割を贈答用販売
7	さくらんぼ＋りんご＋水稲 【果樹＋水稲】	○		○		経営規模 = 5.0ha さくらんぼ = 0.2ha りんご = 0.4ha 水稲 = 3.0ha 飼料用米 = 1.4ha	主たる経営者の農業所得 4,113千円 〔◇販売金額 11,986千円 ◇農業所得 4,113千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 500千円 ・補助的従事者 2人〕	○さくらんぼは4割、りんごは3割を宅配による直接販売 ○水稲作付の一部を飼料用米とし、果樹と合わせ水田転作
8	さくらんぼ＋ぶどう＋水稲 【果樹＋水稲】	○		○		経営規模 = 2.8ha さくらんぼ = 0.2ha ぶどう = 0.3ha ぶどう(大粒系) = 0.2ha 水稲 = 2.0ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,618千円 〔◇販売金額 12,182千円 ◇農業所得 4,618千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 961千円 ・補助的従事者 4人〕	○さくらんぼは2割、大粒系ぶどうは2割を直売・贈答用で販売 ○水稲部門は3戸で共同作業 ○ぶどうは無加温ハウス栽培のデラウェア、雨除けハウス、短梢栽培のシャインマスカットを組み合わせ

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
9	りんご＋すもも＋水稲 【果樹＋水稲】	○				経営規模 = 3.1ha りんご = 0.8ha すもも = 0.4ha 水稲 = 1.8ha (育成中国地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4043 千円 ◇販売金額 12,617 千円 ◇農業所得 4,043 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 625 千円 ・補助的従事者 2 人	○果樹は共選・農協出荷 ○水稲は共同乾燥調製施設を利用
10	ぶどう＋水稲 【果樹＋水稲】	○		○		経営規模 = 11.0ha ぶどう = 0.3ha ぶどう(大粒系) = 0.3ha 水稲 = 6.6ha 飼料用米 = 3.8ha	主たる経営者の農業所得 4,355 千円 ◇販売金額 20,624 千円 ◇農業所得 8,355 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 116 千円 ・補助的従事者 1 人	○大粒種ぶどうは2割を宅配による直接販売 ○水稲作付の一部を飼料用米とし、果樹と合わせ水田転作
11	すいか＋水稲 【野菜＋水稲】	○				経営規模 = 9.1ha すいか = 3.0ha 水稲 = 4.2ha 飼料用米 = 1.8ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,024 千円 ◇販売金額 33,627 千円 ◇農業所得 8,024 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払雇用費 3,351 千円 ・補助的従事者 10 人	○すいかは共同選果場を利用 ○米の乾燥調製は、共同乾燥調製施設を利用
12	きゅうり＋水稲 ＋大豆(委託) 【野菜＋水稲】	○	○	○		経営規模 = 9.1ha きゅうり = 0.4ha 水稲 = 5.0ha 大豆(委託) = 3.6ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,666 千円 ◇販売金額 17,843 千円 ◇農業所得 4,666 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,740 千円 ・補助的従事者 4 人	○きゅうりは露地夏秋栽培とし、収穫・出荷調整は個選 ○米の乾燥調製は共同乾燥調製施設を利用
13	トマト＋たらの芽＋水稲 【野菜＋水稲】		○	○		経営規模 = 7.0ha トマト = 0.3ha たらの芽 = 1.8ha 水稲 = 4.2ha (たらの芽養成畑) = 0.4ha (ハウス用地) = 0.3ha	主たる経営者の農業所得 4,040 千円 ◇販売金額 22,409 千円 ◇農業所得 8,040 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 928 千円 ・補助的従事者 3 人	○トマトはハウス夏秋どり栽培、共同選果施設利用 ○たらの芽は養成畑37a、収穫畑は183a ○米の乾燥・調整は共同乾燥施設を利用
14	トマト＋水稲 【野菜＋水稲】	○		○		経営規模 = 8.4ha 大玉トマト = 0.3ha 水稲 = 4.8ha 飼料用米 = 3.1ha (ハウス用地) = 0.2ha	主たる経営者の農業所得 4,503 千円 ◇販売金額 18,531 千円 ◇農業所得 4,503 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 897 千円 ・補助的従事者 3 人	○トマトはハウス夏秋どり栽培、共同選果施設利用 ○水稲は飼料用米を組合せ
15	ミニトマト＋メロン＋水稲 ＋大豆(委託) 【野菜＋水稲】				○	経営規模 = 11.3ha ミニトマト = 0.2ha 露地メロン = 0.5ha 水稲 = 6.3ha 大豆(委託) = 4.2ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,023 千円 ◇販売金額 18,529 千円 ◇農業所得 4,023 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,884 千円 ・補助的従事者 6 人	○乾燥調製は共同乾燥施設を利用、大豆は委託 ○ミニトマトはハウス抑制栽培 ○露地メロンはトンネル栽培
16	ねぎ＋うるい＋水稲 【野菜＋水稲】		○		○	経営規模 = 8.1ha ねぎ = 1.5ha うるい = 0.9ha 水稲 = 4.5ha (うるい1年株) = 1.0ha (うるい株分け用) = 0.1ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 5,642 千円 ◇販売金額 29,046 千円 ◇農業所得 9,642 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 3,531 千円 ・補助的従事者 5 人	○ねぎは夏秋どり、秋冬どりとし、収穫・出荷調製は個選機械化体系 ○米の乾燥調製は共同乾燥調製施設を利用
17	にら＋たらの芽＋水稲 【野菜＋水稲】		○			経営規模 = 8.6ha にら = 1.5ha たらの芽 = 1.7ha 水稲 = 4.5ha (にら養成畑) = 0.5ha (たらの芽養成畑) = 0.3ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の農業所得 4,857 千円 ◇販売金額 30,526 千円 ◇農業所得 8,857 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 4,953 千円 ・補助的従事者 7 人	○米の乾燥調製は共同乾燥調製施設を利用 ○にらは春夏刈り、夏刈り、夏秋刈りの3作型とし、収穫3年で株を更新

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
18	アスパラガス + たらちの芽 + 水稲 【野菜+水稲】		○	○		経営規模 = 8.8ha アスパラガス = 1.4ha たらちの芽 = 1.7ha 水稲 = 5.2ha (アスパラガス養成畑) = 0.1ha (たらちの芽養成畑) = 0.3ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,331 千円 〔◇販売金額 26,015 千円 ◇農業所得 8,331 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 3,592 千円 ・補助的従事者 5 人〕	○アスパラガスは共同選果施設利用 ○米の乾燥・調整は共同乾燥施設を利用
19	おかひじき+ 水稲 【野菜+水稲】	○		○		経営規模 = 5.0ha おかひじき = 0.5ha 水稲 = 2.9ha 飼料用米 = 1.6ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,331 千円 〔◇販売金額 14,407 千円 ◇農業所得 4,331 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 651 千円 ・補助的従事者 2 人〕	○おかひじきは施設で5回作付け
20	りんどう+ 水稲 【花き+水稲】	○	○			経営規模 = 5.1ha りんどう = 0.8ha 水稲 = 3.0ha 飼料用米 = 1.0ha (りんどう養成畑) = 0.2ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,518 千円 〔◇販売金額 15,546 千円 ◇農業所得 4,518 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払労務費 1,639 千円 ・補助的従事者 5 人〕	○りんどうは山形県オリジナル品種のハインネスシリーズを導入 ○水稲は飼料用米を組合せ
21	ダリア+水稲 【花き+水稲】			○	○	経営規模 = 7.0ha ダリア = 0.2ha 水稲 = 4.2ha 飼料用米 = 2.5ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,263 千円 〔◇販売金額 16,369 千円 ◇農業所得 4,263 千円 ・基幹的従事者 1 人 ◇支払雇用費 810 千円 ・補助的従事者 3 人〕	○ダリアは施設栽培とし、長期出荷 ○水稲作付の一部を飼料用米とし、施設花きと合わせ転作
22	水稲+大豆 + 庄内柿 + 干し柿 【水稲+果樹+加工】				○	経営規模 = 19.6ha 水稲 = 11.0ha 大豆 = 7.4ha 庄内柿 = 1.0ha (ハウス用地) = 0.2ha 干し柿(加工) = 37,500 個	主たる経営者の 農業所得 5,002 千円 〔◇販売金額 26,988 千円 ◇農業所得 9,002 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 610 千円 ・補助的従事者 3 人〕	○水稲は防除以外は自己完結、大豆は2戸共同 ○柿はL玉以上で4割贈答用販売、残りを通常出荷 ○M玉は干し柿の原料
23	水稲+大豆 + えだまめ + ねぎ 【水稲+野菜】				○	経営規模 = 23.7ha 水稲 = 14.0ha えだまめ(茶豆) = 2.0ha 軟白ねぎ = 0.1ha 大豆 = 7.5ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 5,054 千円 〔◇販売金額 31,163 千円 ◇農業所得 9,054 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,382 千円 ・補助的従事者 4 人〕	○水稲は防除以外は自己完結 ○えだまめは茶まめとし、市場出荷 ○水稲育苗ハウスに後作として軟白ねぎを作付け
24	水稲+大豆 + えだまめ 【水稲+野菜】	○	○	○		経営規模 = 30.2ha 水稲 = 18.0ha えだまめ = 2.0ha 大豆 = 10.0ha (ハウス用地) = 0.2ha	主たる経営者の 農業所得 4,266 千円 〔◇販売金額 34,015 千円 ◇農業所得 8,266 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 1,583 千円 ・補助的従事者 5 人〕	○系統販売・農協出荷 ○えだまめは早生～晩生を組み合わせ
25	水稲+大豆 + ねぎ 【水稲+野菜】	○	○	○	○	経営規模 = 50.1ha 水稲 = 30.0ha 大豆 = 19.8ha 軟白ねぎ = 0.2ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,509 千円 〔◇販売金額 52,833 千円 ◇農業所得 12,509 千円 ・基幹的従事者 3 人 ◇支払労務費 1,784 千円 ・補助的従事者 6 人〕	○水稲、大豆は乾燥調製設備の整備を前提 ○水田は全て利用権設定を前提 ○水稲育苗ハウスの後利用で軟白ねぎを作付け

No.	営農類型	適応地域				経営規模	農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
26	水稲+ねぎ 【水稲+野菜】	○	○	○	○	経営規模 = 13.0ha 水稲 = 7.8ha ねぎ = 0.6ha 軟白ねぎ = 0.1ha 飼料用米 = 4.5ha	主たる経営者の 農業所得 4,266 千円 〔◇販売金額 20,060 千円〕 ◇農業所得 4,266 千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 1,704 千円 ・補助的従事者 4人	○水稲は共同乾燥調製施設を利用 ○生産調整は飼料用米で対応 ○ねぎは夏から冬にかけて収穫し、冬期はハウス軟白ねぎを栽培 ○水稲育苗ハウスの後利用として軟白ねぎを作付け
27	水稲+メロン+ストック 【水稲+野菜+花き】				○	経営規模 = 8.0ha 水稲 = 4.5ha 飼料用米 = 3.0ha ストック = 0.1ha メロン = 0.4ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,761 千円 〔◇販売金額 14,968 千円〕 ◇農業所得 4,761 千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 790 千円 ・補助的従事者 4人	○水稲、飼料用米の乾燥・調製は共同乾燥調製施設を利用 ○水稲育苗ハウスの後利用としてストックを作付け ○メロン早熟メロンの後作としてストックを作付け
28	水稲+えだまめ+啓翁桜 【水稲+野菜+花き】	○		○		経営規模 = 17.3ha 水稲 = 10.0ha 啓翁桜 = 1.2ha えだまめ = 4.0ha 大豆 = 2.0ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,004 千円 〔◇販売金額 26,507 千円〕 ◇農業所得 8,004 千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 2,022 千円 ・補助的従事者 6人	○えだまめは早生、中生、晩生の品種を栽培 ○啓翁桜は12月下旬～3月まで連続出荷
29	水稲+ストック+トルコぎきょう+大豆(委託) 【水稲+花き】	○	○		○	経営規模 = 11.8ha 水稲 = 7.0ha ストック = 0.1ha トルコぎきょう = 0.1ha 大豆(委託) = 4.5ha (ハウス用地) = 0.1ha	主たる経営者の 農業所得 4,275 千円 〔◇販売金額 13,987 千円〕 ◇農業所得 4,275 千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 609 千円 ・補助的従事者 3人	○水稲は移植栽培で、乾燥調製は共同乾燥施設を利用 ○ストックは秋出し無加温栽培 ○トルコぎきょうは無加温7～9月出し栽培
30	肥育牛+水稲 【畜産+水稲】	○	○	○	○	飼養規模 肥育牛 = 200頭 経営規模 = 5.0ha 水稲 = 3.0ha 大豆(委託) = 2.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,309 千円 〔◇販売金額 128,433 千円〕 ◇農業所得 4,309 千円 ・基幹的従事者 1人 ◇支払労務費 2,418 千円 ・補助的従事者 2人	○水稲はコンバインを2戸で共同利用、乾燥調製は共同乾燥調製施設を利用 ○肥育牛は常時200頭飼養し、肥育期間を22か月、年間107頭出荷
31	繁殖牛+飼料作物 【畜産+飼料作物】	○	○	○	○	飼養規模 繁殖牛 = 54頭 経営規模 = 25.0ha 牧草 = 18.0ha 稲(WCS) = 5.0ha (牧草更新) = 2.0ha <稲わら収集> = 6.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,336 千円 〔◇販売金額 41,123 千円〕 ◇農業所得 8,336 千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 837 千円 ・補助的従事者 1人	○繁殖牛は常時54頭 ○稲WCSは、育苗・耕起・代掻き・田植え作業を委託し、それ以外の一般管理、収穫調製作業を行う ○稲わら収集圃場を6haとし、同圃場に堆肥散布
32	酪農+飼料用米 【畜産+飼料作物】	○	○	○	○	飼養規模 酪農経産牛 = 60頭 経営規模 = 12.0ha 飼料用米 = 12.0ha	主たる経営者の 農業所得 4,291 千円 〔◇販売金額 64,520 千円〕 ◇農業所得 8,291 千円 ・基幹的従事者 2人 ◇支払労務費 933 千円 ・補助的従事者 1人	○経産牛常時60頭(搾乳常時50頭) ○水田転作として牧草を12ha作付け ○牧草はロール・ラップサイレージ体系により省力化・低コスト化 ○育成牛は自家育成

3-2 スーパートップランナー向けの営農類型別経営指標一覧

※主たる経営者1人当たりの農業所得 800 万円以上の企業的経営を実施する農業法人を想定

No.	営農類型	適応地域				経営規模	販売金額・農業所得等	主な留意事項等
		村山	最上	置賜	庄内			
1	さくらんぼ＋りんご＋もも (贈答向け) 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 5.5ha さくらんぼ = 2.0ha りんご = 1.0ha もも = 2.0ha (育成中園地) = 0.5ha	主たる経営者の 農業所得 10,956 千円 〔 ◇販売金額 60,480 千円 ◇農業所得 22,956 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 9,088 千円 ・補助的従事者 19 人 〕	○一部贈答向けの販売 (贈答向け割合:さくらんぼ 20%、りんご 30%、もも 30%)
2	さくらんぼ＋りんご＋ぶどう(観光) 【果樹専作】	○		○		経営規模 = 4.4ha さくらんぼ = 2.0ha ぶどう = 0.5ha りんご = 1.5ha (育成中園地) = 0.4ha	主たる経営者の 農業所得 11,746 千円 〔 ◇販売金額 49,400 千円 ◇農業所得 23,746 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 4,923 千円 ・補助的従事者 13 人 〕	○観光果樹園＋贈答向けの販売主体 ○さくらんぼ(50%もぎとり)、ぶどう(50%もぎとり)、りんご(20%もぎとり、80%直販)
3	トマト(施設) 【野菜専作】	○	○	○	○	経営規模 = 1.8ha トマト = 1.2ha (ハウス用地) = 0.6ha	主たる経営者の 農業所得 8,603 千円 〔 ◇販売金額 49,920 千円 ◇農業所得 12,603 千円 ・基幹的従事者 2 人 ◇支払労務費 4,271 千円 ・補助的従事者 10 人 〕	○トマトはハウス夏秋どり栽培とし、共同選果施設利用 ○土耕栽培、灌水同時施肥
4	ねぎ＋たらの芽＋水稲＋大豆(委託) 【野菜＋水稲】		○			経営規模 = 25.6ha ねぎ = 4.2ha たらの芽 = 1.7ha 水稲 = 15.0ha 大豆(委託) = 4.1ha (ハウス用地) = 0.6ha	主たる経営者の 農業所得 8,515 千円 〔 ◇販売金額 62,167 千円 ◇農業所得 16,515 千円 ・基幹的従事者 3 人 ◇支払労務費 5,556 千円 ・補助的従事者 8 人 〕	○ねぎは夏秋どり、秋冬どりの組合せ、収穫・出荷調製は個選機械化体系 ○たらの芽は、養成畑 33a、収穫畑 167a とし、促成は専用ハウスを使用
5	ばら 【花き専作】	○	○	○	○	経営規模 = 3.0ha ばら = 2.0ha (ハウス用地) = 1.0ha	主たる経営者の 農業所得 8,265 千円 〔 ◇販売金額 246,960 千円 ◇農業所得 20,265 千円 ・基幹的従事者 4 人 ◇支払労務費 27,322 千円 ・補助的従事者 22 人 〕	○養液栽培、市場出荷主体 ○栽培方式:アーチング栽培 ○環境制御:炭酸ガス施用、空気熱源ヒートポンプ
6	水稲＋大豆 【水稲専作】	○	○	○	○	経営規模 = 100.5ha 水稲 = 57.0ha 水稲(精米販売) = 3.0ha 大豆 = 40.0ha (ハウス用地) = 0.5ha	主たる経営者の 農業所得 10,687 千円 〔 ◇販売金額 111,812 千円 ◇農業所得 30,687 千円 ・基幹的従事者 6 人 ◇支払労務費 2,733 千円 ・補助的従事者 10 人 〕	○水稲「つや姫」20haのうち 3.0ha は精米販売
7	肥育牛 【畜産専業】	○	○	○	○	飼養規模 肥育牛(常時)=1,200 頭	主たる経営者の 農業所得 8,294 千円 〔 ◇販売金額 806,400 千円 ◇農業所得 24,294 千円 ・基幹的従事者 5 人 ◇支払労務費 12,593 千円 ・補助的従事者 4 人 〕	○肉用肥育牛常時飼育頭数 1,200 頭 ○年間出荷頭数 654 頭 ○飼育方式:群飼(自動除糞) ○もと牛導入月齢 10 ヶ月、出荷月齢 32 ヶ月
8	養豚 【畜産専業】	○	○	○	○	飼養規模 養豚(母豚) = 600 頭	主たる経営者の 農業所得 8,056 千円 〔 ◇販売金額 526,200 千円 ◇農業所得 24,056 千円 ・基幹的従事者 5 人 ◇支払労務費 26,851 千円 ・補助的従事者 7 人 〕	○常時母豚飼育頭数 600 頭 ○肥育豚出荷頭数 13,800 頭 ○肥育豚は三元交雑種(母豚を系統豚ガッセンエルエル由来のLW、交配種豚をデュロック種) ○糞尿処置は自動とし、糞は発酵機による堆肥化、尿や洗浄水は活性汚泥法による処理